

I D		外来・入院( 号 )
氏 名		性 別
生年 月日	年 月 日 ( 歳 )	

## 化学療法指示書(nab-PTX+CBDCA)

(ナブパクリタキセル (アブラキサン) +カルボプラチン)

1クール21日 非小細胞性肺がん

第 ( ) クール

主 治 医		C C r	mL/min
身 長	cm	腎機能	正常 / 異常
体 重	kg	肝機能	正常 / 異常
体表面積	m <sup>2</sup>		

ナブパクリタキセル 100mg/m<sup>2</sup> = ( )mg  
day1, day8, day15カルボプラチン AUC 6 = ( )mg  
day1 (目標AUC × (CCr + 25))

2 7	中心静脈注射	9 8	無菌(悪性腫瘍剤)	サイン			
3 9	埋込型カテーテル中心静脈	3 3	外来化学療法加算	Pr	Dr	Ns	医事
年 月 日 ( day 1 ~ 3 )				処方箋にて入力			
内服	アプレピタントカプセルセット 抗悪性腫瘍剤開始90分前までに内服						
[ : ]	年 月 日 ( day 1 )						
[ : ]	ボトル				30分		
	パロノセトロン点滴静注バッグ0.75mg 50 mL						
	デキサート注射液6.6mg 1 瓶						
[ : ]	ボトル				全開		
	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ				
[ : ]	ボトル				30分		
	大塚生食注50mL 1 瓶						
	アブラキサン点滴静注用100mg ( )V						
	アブラキサン1Vあたり生食20mLにて懸濁 30分かけて投与 シリンジポンプまたは輸液ポンプを使用						
[ : ]	ボトル				全開		
	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ				
[ : ]	ボトル				1時間		
	大塚糖液5% 250mL 1 袋						
	カルボプラチン注射液 ( )mg						
	カルボプラチン注射液 450mg { }V						
	カルボプラチン注射液 150mg { }V						
	カルボプラチン注射液 50mg { }V						
[ : ]	ボトル				全開		
	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ				
年 月 日 ( day 8 )							
[ : ]	ボトル必要時 (不要の場合は斜線で削除)		必要時		30分		
	大塚生食注50mL 1 瓶						
	デキサート注射液6.6mg 1 瓶						
[ : ]	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ		全開		
[ : ]	ボトル				30分		
	大塚生食注50mL 1 瓶						
	アブラキサン点滴静注用100mg ( )V						
	アブラキサン1Vあたり生食20mLにて懸濁 30分かけて投与 シリンジポンプまたは輸液ポンプを使用						
[ : ]	ボトル				全開		
	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ				
年 月 日 ( day 15 )							
[ : ]	ボトル必要時 (不要の場合は斜線で削除)		必要時		30分		
	大塚生食注50mL 1 瓶						
	デキサート注射液6.6mg 1 瓶						
[ : ]	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ		全開		
[ : ]	ボトル				30分		
	大塚生食注50mL 1 瓶						
	アブラキサン点滴静注用100mg ( )V						
	アブラキサン1Vあたり生食20mLにて懸濁 30分かけて投与 シリンジポンプまたは輸液ポンプを使用						
[ : ]	ボトル				全開		
	大塚生食注50mL 1 瓶		フラッシュ				

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前  中  後	1.穿刺部位 2.皮膚・粘膜症状 3.呼吸器症状 4.循環器症状 5.消化器症状	サイン
月 日 (day8)		前  中  後	1.穿刺部位 2.皮膚・粘膜症状 3.呼吸器症状 4.循環器症状 5.消化器症状	サイン
月 日 (day15)		前  中  後	1.穿刺部位 2.皮膚・粘膜症状 3.呼吸器症状 4.循環器症状 5.消化器症状	サイン

投与開始基準

○好中球≥1500 血小板≥10万 Hb≥9.0 Bil≤1.5 AST/ALT≤ULN×2.5 クレアチニン≤1.5 末梢神経障害≤G1

コース内投与基準（Day8, Day15）

○好中球≥1000 血小板≥5万 末梢神経障害≤G2（前コースでG3が発現した場合はG1に回復後）

減量基準

- 好中球<500 または<1500となり投与延期した場合
- 血小板<5万となり投与延期した場合
- 発熱性好中球減少症
- G2の皮膚障害
- G3の非血液学的毒性（脱毛を除く）

〈減量の目安〉

減量段階	アブラキサン	カルボプラチン
通常投与量	100mg/m <sup>2</sup>	AUC 6
1段階減量	75mg/m <sup>2</sup>	AUC 4.5
2段階減量	50mg/m <sup>2</sup>	AUC 3

主な副作用

- アナフィラキシー
- 骨髓抑制
- 末梢神経障害
- 間質性肺炎
- 悪心、嘔吐、胃腸障害
- 視力低下（黄斑浮腫）、眼障害（角膜炎等）
- 関節痛、筋肉痛、全身倦怠感
- 腎障害、肝障害
- 脱毛
- 血管痛

調製および投与時の注意事項

アブラキサン

- 泡立ちやすいため、調製時は注意。
- 溶解は1バイアルあたり20mLの生理食塩水で行うこと。  
注射針は18Gを使用し、コアリングに注意。
- 注射針は深く刺さず、なるべく液面につかないよう注意。（シリコーン油由来の不溶物が発生）
- 生食をバイアル壁面を伝うように注入し、5分間静置。
- 円弧を描くように緩やかに2分以上混和して懸濁する。
- インラインフィルターは使用しないこと。
- 人血清アルブミンが使用されており、同意書と20年間の記録が必要。
- 生理食塩液に混和しないこと
- 血管外漏出に注意（壊死性）